

大学	支援内容	問い合わせ先
日本大学生物資源科学部下田臨海実験所	実習のための施設利用を提供	松宮 政弘 Phone/Fax: 0466-84-3684 matsumiya@brs.nihon-
東京海洋大学水圏科学フィールド教育研究センター	実験所での教員、学生の受入れ可能(食事の提供無し、時期によって本学のカリキュラムとの調整が必要)	瀬川 進 03-5463-0525, segawa@kaiyodai.ac.jp
東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所	実験室、宿泊施設、実験飼育水槽、小型船、研究用機器類など、いずれも長期間にわたって利用可能	TEL 053-592-2821、ayuzuru@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
福井県立大学	基本的には科目等履修生制度を被災学生向け特別措置に改変して利用する。本制度を利用せず、研究室の使用を希望する場合は受け入れる方向で個別に対応する。	海洋生物資源学部:小浜キャンパス企画サービス室:遊津(あそつ)安司 (j-asodu@fpu.ac.jp、0770-52-6300)または宮台俊明 (miyadai@fpu.ac.jp、0770-52-9602) その他の学部:福井キャンパス教育推進課(0776-52-6000 内線)
三重大学水産実験所	研究者・院生・学生に対し、実験施設や宿泊施設を無料で提供	599-85-4604、kimura-s@bio.mie-u.ac.jp
京都大学フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所	実験所の調査・研究施設、実験器具、研究室、宿泊施設等の利用を無償で提供 卒業研究、大学院研究の遂行に関して、テーマ等のご相談にも対応 0773-62-5512、maizuru@adm.kais.kyoto-u.ac.jp	0773-62-5512、maizuru@adm.kais.kyoto-u.ac.jp
広島大学大学院生物圏科学研究科 附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター 竹原ステーション	1)学生野外実習・演習及び宿泊の受け入れ(小型船舶などが使用できます) 2)教員、学生の研究補助(使用機材、材料の有無などはお問い合わせください)	0846-22-2362、ohtsuka@hiroshima-u.ac.jp
香川大学 瀬戸内圏研究センター	香川大学東日本大震災復興支援対策本部支援室で検討中	多田邦尚 087-891-3148、tada@ag.kagawa-u.ac.jp
愛媛大学(大学全体)	(1)被災学生・大学院生の講義の履修 授業料は、原則免除とします。また、履修単位は被災学生・大学院生が所属する大学の単位として 認定できるよう協議します。 (2)被災大学院生の研究支援 愛媛大学に適切な研究指導者がいれば、被災大学院生を特別研究学生として受けいれます。 (3)研究者の支援 研究環境の再構築が長期にわたって困難な研究者(大学院生を含む。)に対して、研究スペースの 提供や愛媛大学が有する研究用機器の利用等可能な支援を行います。 (4)宿舎の確保	・愛媛大学社会連携支援部社会連携課 (TEL:089-927-8518)
高知大学(大学全体 および実験所)	☆研究スペースの利用 (本学研究者への申し込みが必要です。) ☆図書館の利用、インターネット使用 (学生証、身分証明書の提示をお願いします。) ☆研究スペース利用に伴う宿泊施設の利用 海洋生物研究教育施設の宿泊および施設利用は無償	高知大学 総務部総務課 088-844-8640・8735、Fax:088-844-8738 ks04@kochi-u.ac.jp
水産大学校(田名実験実習場)	水産庁と共同で、練習船による支援実施中 実験実習場での便宜供与を検討中	竹下 直彦 083-286-5111
九州大学水産実験所	「東北関東大震災支援対策室」で支援。実験所としては可能な限り支援。	092-642-2892、skawagu@agr.kyushu-u.ac.jp 九州大学総務部総務課、092-642-2107、syssomu1@jimu.kyushu-u.ac.jp
長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センター	(1)被災大学院生・卒論学生の研究・教育支援 長崎大学に適切な研究指導者がいれば、被災大学院生・卒論学生を特別研究学生として受け入れます。当センターの教員は下記備考欄のような研究テーマで研究を推進しております。具体的なご相談は個々の研究者にお問い合わせ下さい。柔軟に対応いたします。 (2)研究者の支援 研究環境の再構築が長期にわたって困難な研究者(大学院生・卒論学生を含む)に対して、研究スペースの提供や長崎大学が有する研究用機器、実験水槽の利用等可能な支援を行います。また、長崎大学の教員が有する長崎近海の野外調査フィールド(有明海・大村湾・東シナ海等)にて、必要な調査支援を行います。 (3)宿舎の確保 環東シナ海環境資源研究センター内にある宿泊棟約5室を無償貸与します。(宿舎は大部屋4室、個室1室で、約270平方メートル。約17名収容可能です。宿泊棟はセンター敷地内にあります。ただし、本学の臨海実習を実施する期間(8/10-12、9/9-13、9/15-16、9/20-22)は宿舎の使用は不可となります。)	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科 附属環東シナ海環境資源研究センター Tel:095-850-7311 kawabe@nagasaki-u.ac.jp(河邊 准教授)
宮崎大学農学部附属フィールド教育研究センター	研究者・学生による本学の施設利用、あるいは宿泊施設の利用等への便宜供与	農学部フィールド科学教育研究センター0985-58-7154(宮崎市) 0982-37-0327(延岡フィールド)
鹿児島大学水産学部海洋資源環境教育研究センター	水産学部学部の授業の公開(聴講)、卒論研究支援等 水産学部キャンパスおよび東町ステーション(学部から車で2時間)での教員、学生の研究(宿泊施設、小型船舶などが使用可能)引き受け可能	水産学部教務係(099-286-4040、fgakusei@kuas.kagoshima-u.ac.jp) ステーション(099-286-4296、koyama@fish.kagoshima-u.ac.jp)